

# 取扱説明書

## モトロー ホイールカバー

このたびは、ホイールカバーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
ご使用前に本書を必ずお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。

### 安全上の注意

本取扱説明書は安全に関わる重要な注意事項を警告・注意のマークを使用して表現しています。  
製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものなので、必ず厳守してください。  
本製品を使用する前に、この取扱説明書に記載されている項目を良く読んで内容を理解し、必ず厳守してください。本取扱説明書を無くしたり、汚したりせず、使用者が任意に読むことができるよう大切に管理・保管してください。

### 注意

この表示内容を見逃して、誤った使い方をした場合は人的障害や製品の破損、その他の物的損害へつながる可能性があります。

### 警告

この表示内容を見逃して、誤った使い方をした場合は死亡や重症等の重大な障害に結びつく可能性があります。

## 【装着時の注意】

### 注意

- タイヤの空気圧が、適正な状態であるかを確認してください。
- 安全かつ平坦な場所で、必ずエンジンの停止を確認後に作業を行ってください。
- けが防止のために、装着・脱着の作業時には、素手では作業せずに、必ず軍手などを使用してください。
- 作業中は、ホイールとホイールカバーの間に、手や指等をはさまないように十分注意してください。

## 【装着の手順】

- ①ホイールカバーや、センターキャップ等が装着されている場合は取り外してください。  
※純正ホイールカバーを取り外す際は、車両の取扱説明書を確認の上作業を行ってください。
- ②金属リングの凹み(図4)部分が、裏面のバルブマークの位置にある事を確認後に、その凹み部分をホイールのエアバルブの位置に合わせてください。(図5)

## 【スプリングが外れてしまった場合】

- スプリングを、全てのクリップに入るように挿入してください。(図1)  
※スプリングの溶接点が、クリップの中に位置しないようご注意ください。(図2)  
※スプリングの装着時に下記の状況がある場合、プライヤーやペンチなどの工具を使用し、スプリングの調整部分を調整してください。(図3)
- 1)スプリングの張りすぎによる装着困難→調整部分を縮めスプリング外径を狭めてください。
  - 2)スプリングが緩い→調整部分を外側に広げスプリング外径を広げてください。

### 警告

金属リングがエアバルブと接触しないように、ホイールカバーをセットしてください。  
※接触した状態で走行した場合は、エアバルブが破損し、タイヤの空気圧が減少が原因で重大な事故につながる恐れがあります。④ホイールカバーの下側をホイールの縁(エッジ)部分に引っ掛けて、両膝で押さえながら両手で左右均一に押し込んでください。(図6)

### 注意

汎用品のため、ホイールによっては入りにくい場合もございますが、過度の力で叩き入れたり、蹴りいれたりする事は絶対にしないでください。  
⑤装着後は必ずホイールカバーのツメが確実に固定されているかを確認してください。(図7)

**※装着後は試走行を必ず行ってホイールカバーの装着状態を確認してください。  
また定期的に装着状態の確認もしてください。**

※ホイールの形状によってはホイールとホイールカバーの間に隙間ができる場合がありますが、ガタツキや緩みが無ければ使用上の問題はございません。

### 警告

装着後、ホイールカバーとタイヤが接触していないかを確認してください。接触している場合は直ちに使用を中止してください。ホイールカバーの脱着やエアバルブが破損する恐れがあるため大変危険です。

## 【取外しの手順】

ホイールカバーを取り外す際は、両手の指をホイールとホイールカバーの間にに入れて手前に引いてください。(図8)  
 ※もし外れにくい場合は、マイナスドライバー等をホイールカバーとの間にに入れて、少しずつゆっくり手前に引いてください。

図1

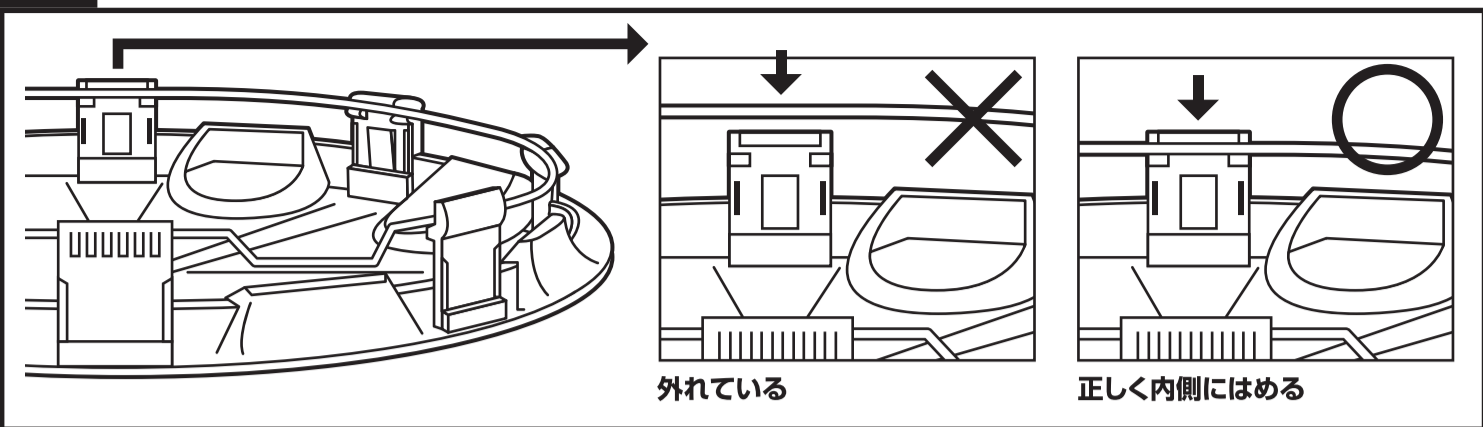


図2

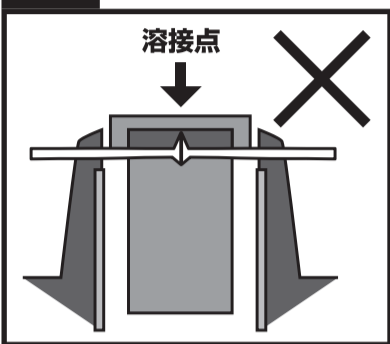


図3

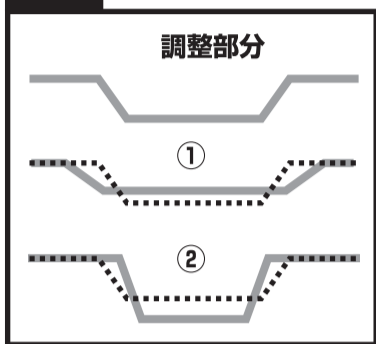


図4

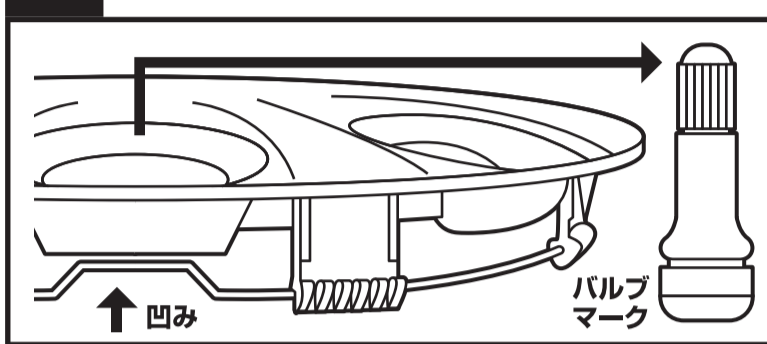


図5



図6

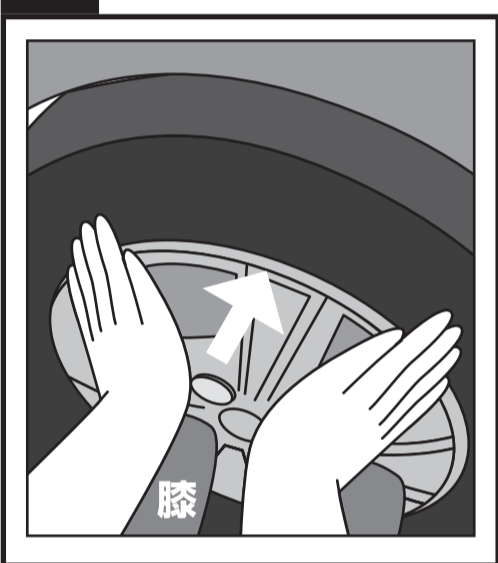


図7

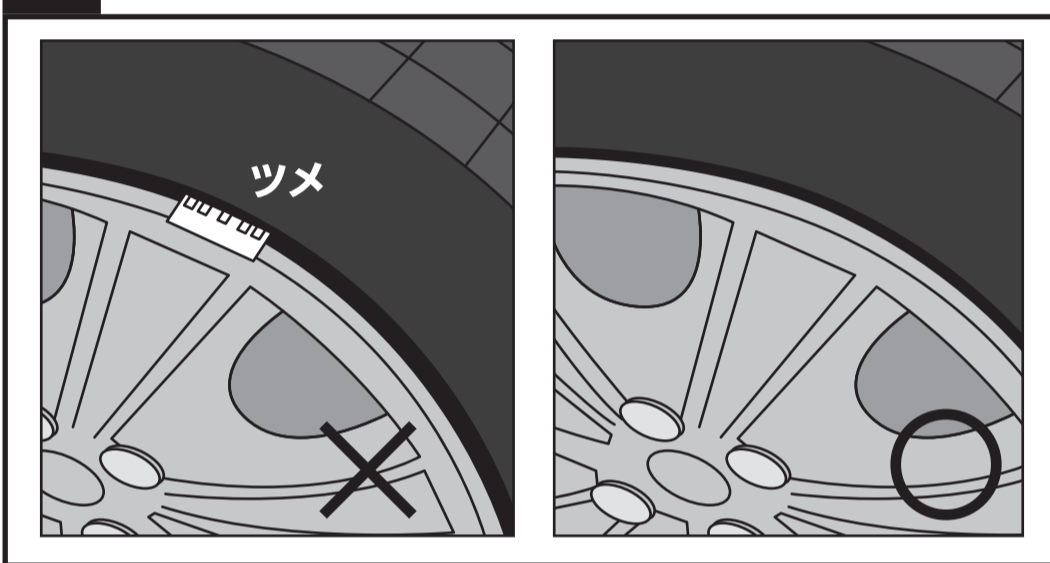
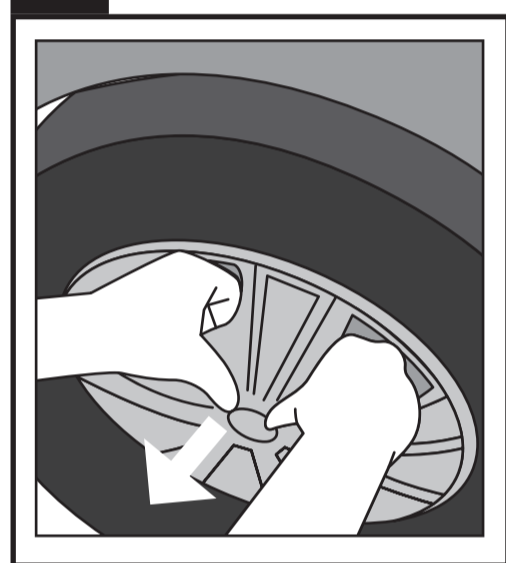


図8



## 【使用上の注意】



**警告**

- 適合サイズが一致している場合でも、車種やホイールの形状によっては、爪が割れて途中で外れてしまう場合があります、大変危険です。  
 取付後は必ず試運転を行い緩み等が無いか確認してください。

- 汎用品のため、一部の車種(特に商用車)及びスチールホイール形状により、取付できない場合があります。  
 ※車両のホイールが変形している場合は、正しく装着できない場合があります。
- ホイール本体の個体差で装着後に、ガタツキや緩みがある場合はご使用になれません。
- ホイールカバーが車体からはみ出る事は、法令で禁止されています。車種によっては、ホイールカバーを装着した際に車体からはみ出す場合がございます。はみ出す場合は絶対に使用をしないでください。
- 使用中にホイールカバーの変形・亀裂・破損などが発生した場合は、直ちに取外し、使用を中止してください。



**注意**

- 急発進・急ブレーキ・急ハンドル等の無理な運転は、ホイールの歪みにつながりホイールカバーが外れる原因になりますのでしないでください。
- 高速走行した場合は、ホイールが熱を帯び、ホイールカバーの変形やズレにつながる場合があります。必ず定期的に装着状態を確認してください。もし異常が見られた場合は、直ちに使用を中止してください。
- タイヤは必ず、適正な空気圧を維持・管理してください。空気圧が低い場合は、ホイールカバーが外れる原因になります。またホイールカバーを装着した状態で、タイヤの空気圧を補充しづらい場合はホイールカバーを外してから補充を行ってください。
- ホイールカバーが汚れた場合は、水で洗い流してください。もし汚れがひどく水だけでは汚れが落ちない場合は中性洗剤で洗ってください。※ブラシ等で強く洗った場合や、シンナーやアルコール等を使用した場合は傷や変形の原因になるので使用しないでください。